

事務事業名	公共下水道建設事業（雨水）			担当	建設部 下水道課 工務係	
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり		電話番号	0285-83-8161	
施策名	2	下水道事業の推進		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	下水道法				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～）	
予算科目	9.公共下水道事業特別会計	1.公共下水道費	3.建設費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（昭和47年度～平成38年度）	
事業概要	本市の雨水整備は、汚水と雨水を別々に処理する分流式で、市街地の浸水を防ぐため、昭和48年1月に事業の認可を得、行屋第1排水区の140haに着手し、以降順次整備を行っている。雨水の全体計画面積は1,431haで、平成23年度末現在の整備状況は、766haが整備され整備率は、53.5%となっている。					

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 23年度実績 管渠工事 L = 434m 八木岡伊勢崎雨水調整池 V=6,492m3 V：雨水調整容量  24年度計画 雨水管渠工事 L = 1,377m 江川雨水調整池 V=2,442m3 高間木B雨水調整池 V=2,320m3 V：雨水調整容量		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
		ア：整備面積a	ha	2.5	3.8	0.4	3.2	8.3
		イ：管渠延長b	m	436	222	128	434	1,376
		ウ						
		エ						
		オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 下水道計画区域内の市民及び法人		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
		ア：整備計画面積c	ha	1,082.4	1,240.4	1,240.4	1,431.1	1,431.1
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 雨水による浸水被害を防ぐ。		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
		ア：整備面積d	ha	633.6	764.7	766.0	766.0	787.8
		イ：管渠延長	km	31.0	32.9	33.0	33.5	35.2
		ウ						
		エ						
		オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 安全なまちづくりが促進される。		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
		ア：雨水整備面積率(d/c)	%	58.5	61.6	61.8	53.5	55.0
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	42,500	74,000	41,725	167,667	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	49,000	72,940	73,700	282,800	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	10,819	51,197	31,990	39,783	0
		事業費計(A)	千円	102,319	198,137	147,415	490,250	0
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	0
		延べ業務時間	時間	3,680	3,680	3,565	3,630	0
		人件費計(B)	千円	15,375	14,926	15,215	15,398	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	117,694	213,063	162,630	505,648	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	市街地における雨水による浸水被害を防止するため。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	近年の局所的豪雨等により雨水による浸水被害が増加している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	浸水被害地域から早急な解決を望む声が上がっている

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民の快適な生活環境の整備が図られる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市街地の浸水被害を解消するため、下水道法により市町村が行うことが定められている。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 下水道全体計画策定時(随時)に適切に検討している。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 下水道全体整備計画により計画的に整備が図られている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 浸水被害が継続して発生する。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費の削減により管渠や施設の整備が遅れ、浸水被害の解消が遅れる。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 可能な範囲で、調査・設計業務を民間に委託して人件費の削減に努めている。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 雨水排水については、浸水被害の解消を目的としており、市が実施することは公正・公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性 ) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？ 近年、局所的豪雨等による浸水被害が増加しているため、調整池設置を含めた雨水浸水対策が重要になってきている。																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							